



漕代小学校だより



松阪市立漕代小学校 令和5年9月11日(月) NO.13

ホームページ <http://www.koishirosho.com>

E-mail: koishiro2es@matsusaka.ed.jp 校長 橋本 恵美子

第2回・第3回の拡大学校運営協議会を開催しました。

拡大学校運営協議会では、学校活性化、つまりこれからの漕代小学校について、熟議を行いました。CSの委員だけでなく、PTA代表や地域の方、来年度入学予定のお子様の保護者の方にも参加していただきました。熟議という言葉はまだ耳慣れませんが、熟考し、議論することです。

第2回拡大学校運営協議会では、テーマを「小規模校のメリット・デメリット」として話し合いました。メリットとして、「教員や地域住民など大人が、子ども一人ひとりにしっかりと目が届く。」「児童自身が、自分の役割や責任を自覚した行動ができるようになる。」「学校と地域が協働した活動を創れる。」等の意見が出ました。デメリットとして、「授業などで、多様な意見が出にくかったり、意見が偏りがちになったりする。」「チームスポーツなどが成立しにくい。」「大人数(知らない人)の中で消極的になり、自分を出せない。」等意見が出ました。

そこで、デメリットを解消する手立てとして、「近隣校との交流学习の機会を増やす。」「大勢の前で発表する機会を設定する。」等の解決策が出されました。しかし、「交流学习はよいが、回数が制限される。」等の課題も出されました。

最後に、松阪市教育委員会学校マネジメントコーディネーターの田中さんが、学校・家庭・地域と市教委が熟議を重ねながら子どもたちのためにより良い発想や方法を導き出し、義務教育9年間の学校生活を円滑に過ごしていける体制を創造していくことが大切であると総括されました。



第3回の拡大学校運営協議会では、テーマを「小学校を統合した場合のメリットと想定される課題」として話し合いました。メリットとして、「友だちが増えることで切磋琢磨やコミュニケーション能力の向上が期待できる。」「複式学級が解消される。」「修学旅行費等の費用負担が減る。」「保護者のコミュニティの輪が広がる。」。課題として、「児童数が増えることで教師の目が届きにくい状況生まれ、いじめ等の問題が発生する可能性がある。」「学校

の設置場所によって通学方法等で保護者負担が増す可能性がある。」そこで、課題を解消する手立てとして、「新入学児童は統合校に入学する、在校生は学校間の交流をさらに増やす等、統合を段階的に進めてはどうか。」「通学方法等は子どもの安全を第一に考え、スクールバスを導入すればどうか」「市教委からの積極的な情報開示と丁寧な説明が必要。」等の意見が出されました。

最後に、教育委員会の田中さんが、漕代小学校の学校経営方針である地域と協働した探究的な学習を充実させる必要性、CS活動を通じて学校と地域との繋がりの希薄化を払拭するような取組を継続することの必要性などについて総括されました。

